

[報道資料]

エア・ドゥ 平成 10 年度の決算について

1. はじめに

平成 10 年度は、弊社にとって、株主の方々をはじめ皆様のご支援が実を結び、念願の就航に漕ぎ付けた記念すべき年度でした。

2. 開業準備期間の動き

- (1) 平成 10 年 3 月、日本航空との間で、運航関連、整備ならびに空港業務の各般に亘って開業準備及びその後の運航についてご支援頂くための契約が締結されました。
- (2) 平成 10 年 6 月 5 日、運輸省により定期航空運送事業の路線開設免許申請が受理され、同年 10 月 26 日、東京 - 札幌間を運航路線とする定期航空運送事業の免許交付を受けました。
- (3) この間、社内体制としては、運航乗務員、客室乗務員、空港支店要員等の人材確保、増資による資金調達など、円滑な企業運営のための諸施策を積み重ねてまいりました。株主の方々を始め、道及び札幌市から多額の融資を受けるなど、ご支援を頂いた方々に心からお礼申し上げます。
- (4) 開業準備としては最後のハードルである就航前施設検査・実証飛行などの審査に合格し、12 月 20 日弊社は念願の就航を果たしました。

3. 就航開始後の実績

就航率は 100% を達成し、また搭乗率も 83.2% と多くの方々からのご支援を賜り、計画を上回る実績を挙げることができました。

4. 平成 10 年度の事業収支

旅客収入 2,084 百万円に対し、事業費は 1,847 百万円で、当期の大半は開業準備に費やされたので、経費の節減には鋭意努力致しましたが、販売費及び一般管理費は 830 百万円を計上し、これを差引いた営業損失は 594 百万円となりました。さらに繰延資産に計上していた開業費は、商法の定めに従い 442 百万円償却致しました。この結果、経常損失は 1,027 百万円、当期損失は 1,059 百万円となりました。

以上